

高梁2025 “地域医療はまちづくり”^⑭

「高梁2025」は、持続可能な地域医療体制の構築に向けた取り組みの総称です。

コロナ禍で安心できる自宅療養体制を整備

新型コロナウイルス感染症の第5波流行時には、多くの人が自宅療養を余儀なくされました。市内の感染拡大の防止のため、高梁医師会では、ワクチン接種の協力をはじめ、日々の感染対策などご尽力されています。さらに、県内の郡市医師会の取組みとしては先駆けとなる、関係機関が一体となった自宅療養者に対する医療提供体制「おうちで安心高梁方式」を構築し、第6波の感染拡大に備えています。

それぞれの役割

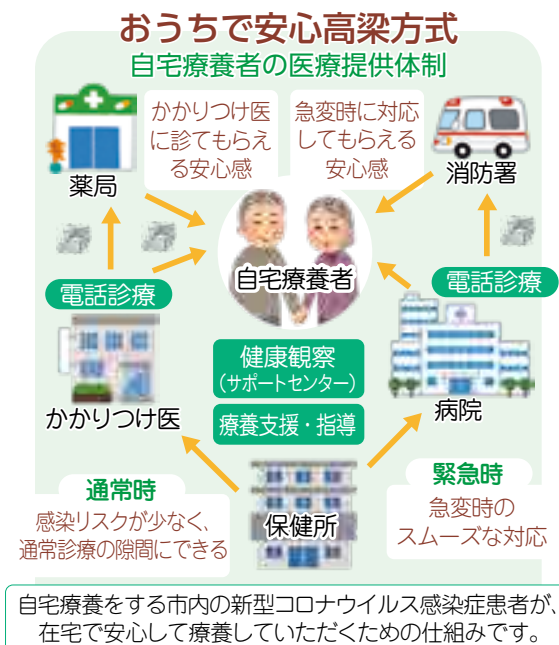
保健所……在宅療養者の毎日の健康支援と生活支援、安否確認

かかりつけ医……保健所の依頼を受けて、電話診療を実施

病院……時間外・休日などにかかりつけ医、保健所からの情報を受け電話診療を実施

薬局……かかりつけ医からの要請により、電話での服薬指導、薬の処方を実施

消防署……緊急時に備え、症状悪化時の緊急搬送に対応



市ウェブサイト「高梁2025～地域医療の高梁モデル構築に向けた100の検討とアクション～」にこれまでの議論の内容などを掲載しています。

介護医療連携課 ☎ 21-0304 / (一社)高梁医師会 ☎ 22-3801



健康づくり応援通信^{④9}



風しん抗体検査を受けましょう (42歳～59歳の男性へ)

風しんの感染拡大が続いています。妊婦が風しんに感染すると、高い確率で子どもに障がい(先天性風疹症候群)が残ることがあります。風しんの流行を防ぐためには、乳幼児や妊婦さんだけでなく、特に抗体保有率の低い世代(42歳～59歳)の男性の感染予防が重要です。

対象の人は、全国で原則無料で抗体検査・風しんの予防接種が受けられる期間が延長になりました。

風しんは予防接種を受けることで予防できる感染症です。自身と、これから産まれてくる子どもたちを守りましょう。

対象 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性

無料で接種できる期間 令和7年3月まで

※令和3年5月末に市から郵送されたクーポン券が必要です。再発行が必要な場合はお問い合わせください。

実施方法 ①職場での健診時 ②医療機関 ③特定健診時に無料

クーポン券と本人確認書類を持参し、風しんの抗体検査を受け、十分な量の抗体がない人は予防接種を受けてください。

注意点

- 抗体検査受診時および検査の結果、予防接種が必要となった場合、クーポン券と本人確認書類(保険証、免許証など)が必要です。
- 事業所健診や特定健診で受けることができます。勤務先の事業所や市区町村にお問い合わせください。

令和元年6月～令和3年9月
高梁市 風しん抗体検査 受診者数・結果

対象者	2,651人
抗体検査受診者	1,178人 (受診率 44.4%) ※抗体あり…714人、抗体なし…464人 (予防接種を受けた人数…388人)

健康づくり課 ☎ 21-0228